

アフターケア通信

ご本尊を受けとられた貴方へ

えい たい きょう
永代経
【5月号】



【永代経とは？】

『永代経』とは、何もそんな特別な名前のお経があるわけではありません。末永く代々にわたって、お釈迦さまの説法であるお経、つまり真実なる教えを伝えたいという願いのもとに、勤められる法要がこの『永代経』なのです。

長崎教区で毎年勤められる大衆供養の様子



【亡き人のご縁】

ご法事の際には、必ず読経の前に表白(ひょうびやく)が拝読されます。その中に、「亡き人を思(しの)びつつ、如来のみ教えに遇(あ)いたてまつる」という文言があります。これは亡くなった方を偲ぶご縁によって、如来の真実の教えを聞かせていただくという意味です。

本願寺八代目の蓮如上人が書かれた御文(おふみ)の中でも、特に有名なのが『白骨の御文』であります。普段ならば、「朝(あした)には紅顔(こうがん)ありて夕べには白骨となれる身なり」と聞いたとしても、聞き流してしまいます。しかし、身近な人、愛する人を亡くした時には、まったく違った響きをもって、私の心を揺さぶります。しかも、思わず感涙にむせぶことすらあるのです。

【真宗の教えと願い】

真宗の教えは、「鰯の頭も信心から」と頭ごなしに信仰を押しつけるものではありません。必ずやご縁が来ると響いてくる言葉があり、ご縁が来ないとうなずけない世界もあるのです。

この『永代経』とは、誰でもいずれはやってくる愛別離苦(あいべつりく)の悲しみの淵(ふち)からその方を立ち上がらせ、「亡くなったあなたのおかげで、人生の深く大切なことを教えられました」と、亡き人を仏さまとして拜んでいける世界が願われているつどいなのです。

今月の門徒さん

私は、父母亡き後、永代経会のご縁を7回いただくうちにそれまで漠然と抱いていたお経のイメージが(ああ、そうなのだ)と、実感できるようになりました。それは、真実の教え(お経)を縦糸に、門徒の私たちが横糸となり織り物を織り上げていくイメージです。

5月の薫風にはためく5色の仏旗を仰ぎながら、人生を生きてゆく上でのポジティブな気付きを、吟味しながら積み重ねて参りたいと思っています。(合掌)



うす い りょう こ
臼井 良子さん
(第1組・照護寺)



真宗大谷派 長崎教区教化委員会

コラム

朝夕のおつとめ



家のお内仏でお正信偈をあげたいんだけど、どうしたら良いの？

お内仏を家にお迎えしたら、毎日、朝夕のおつとめをしましょう。
その手順についてご説明致します。

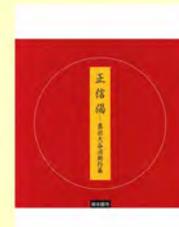
- ①お灯明（お内仏の電気を付け、ロウソクを灯す）をあげ、燃香（お線香に火を付け、火がついた方を左に香炉へ寝かせて置く）した後、ご本尊を仰ぎ合掌して、「南無阿弥陀仏」と念仏申します。
- ②真宗大谷派の『勤行集（赤本）』を使用してお勤めします。

【通常時】

- 1、正信偈（草四句目下）…3頁～32頁
- 2、念仏讃（洵三）・和讃…33頁～48頁（または、同朋奉讃式 第二…97頁～100）
- 3、回向（願以此功德）…49頁（同朋奉讃式 第二の場合…101頁）
- 4、御文…60頁

【時間に余裕がない場合】

- 1、「三誓偈」…89頁、又は「嘆佛偈」…92頁
- 2、短念仏（なまーだぶー）六遍
- 3、回向（願以此功德）



図①「正信偈CD」（東本願寺）

※ページは全て、「赤本」を参照。

③その他

- ア、御文はお1人が拝読して、その他の方は静かに拝聴（頭を少し下げて聞く）します。
- イ、鈴を打つ箇所は勤行集に●で表記されています。（例正信偈の最初の2打など）鈴は間や強弱で打ち分け、その時のおつとめの軽重を知らせるお道具です。合掌礼拝だけの時など、おつとめの時以外で鈴を打つことはありません。
- ウ、合掌とお念仏だけは必ずいたしましょう。
- エ、CD等（図①参照）を用いると、正確なお勤めを覚えることができます。